






# 親子留学

## 何を学ぶ？

「親子留学」とは文字通り、親子と一緒に留学することです。「親子留学」の目的は、親にとっては、日ごろ学んでいる英語のブラッシュアップや学位の取得、子どもにとっては、生の英語と異文化に触れる、外国人に対する抵抗感をなくす、積極性を養うなどが挙げられます。期間は1週間程度の短期から、数ヶ月、数年間の長期留学までさまざまです。留学のタイプは、学校に通うのが誰かによって下記の3つに分けられます。また、留学のタイプや留学期間によって、必要となるビザが異なります。

### 1. 親のみが学校に通う





親の留学に子どもが扶養家族として随行。親が大学などで勉強している間、子どもを地域のチャイルド・ケア・センター（託児施設）などで預かってもらいます。大学や専門学校では、キャンパス内に託児施設を併設しているところも多くあります。

受け入れ機関  
...///

必要なビザ  
 ・短期留学( 留学期間が3ヶ月未満 )..親子ともに観光ビザ。  
 ・長期留学( 留学期間が3ヶ月以上 )..親が学生ビザを取得。(子どもは扶養家族扱い<sup>1)</sup>。

### 2. 子どものみが学校に通う









子どもの留学に親が保護者として同伴。子どもが現地の小学校、中学校、高校、英語学校へ通っている間、親は観光やショッピングなどでフリータイムを楽しむことができます。

受け入れ機関  
...//

必要なビザ  
 ・短期留学( 留学期間が3ヶ月未満 )..親子ともに観光ビザ。  
 ・長期留学( 留学期間が3ヶ月以上 )..子どもが6歳以上の場合は学生ビザを取得。親はガーディアン( 保護責任者 )ビザ<sup>2)</sup>を取得。

### 3. 親子で学校に通う

親子それぞれが現地の教育機関で学びます。子どもは小学校などで同世代の子どもと学び、親は英語学校や専門学校、大学で勉強します。

受け入れ機関  
...//  
...//

必要なビザ  
 ・短期留学( 留学期間が3ヶ月未満 )..親子ともに観光ビザ。  
 ・長期留学( 留学期間が3ヶ月以上 )..

- 1 )親が学生ビザを取得( 子どもは扶養家族扱い<sup>1)</sup> )。
- 2 )子どもが学生ビザを取得。親はガーディアンビザ<sup>2)</sup>を取得。

<sup>\*1</sup> 親のビザ有効期限内であれば、子どもの就学も可能。  
<sup>\*2</sup> ガーディアンビザを取得した場合、親も英語学校などでの就学が最長3ヶ月間可能。

< ビザに関する留意点 >  
 ・親の留学に未成年の子どもが同伴する場合、就学条件等のビザの規定を確認し、学校側と相談する必要があります。  
 ・ビザに関する詳細は、オーストラリア大使館ビザ査証課のホームページをご確認ください。www.dima.australia.or.jp











## オーストラリアに「親子留学」するメリット

時差が少ない    温暖な気候    治安が良い

多民族・多文化国家  
 さまざまな文化・言語的バックグラウンドを持つ現地の子どもたちと一緒に学ぶことで、多様な価値観を理解し、グローバルな視点を持つ国際人としての資質を養えます。

豊かな自然環境  
 牧場や農場で、動物や自然と触れ合える短期ファームステイも体験可能です。

子どもの受け入れ態勢が整っている  
 多くの地域で、幼稚園や小学校から留学生を受け入れています。海外からの移住者が多いオーストラリアでは、ESL ( English as a Second Language / 第2言語としての英語を学ぶクラス ) がある小学校も多数あり、英語力の足りない子どもへのサポート体制が整っています。また、チャイルド・ケア・センターも充実しています。オーストラリアの託児施設は、しっかりとしたプログラムに基づいて運営されており、子どもたちは読み書き、ゲーム、外遊びなどさまざまなアクティビティを体験できます。

**記号の説明**  
 ・教育機関  
= チャイルド・ケア・センター( 0 - 5歳 ) / = 幼稚園 / = 小学校( 6歳 - ) / = 中学校  
= 英語学校 / = 専門学校 / = 大学 / = 大学院  
 ・対象  
= 親 / = 子ども

## これだけは知っておこう

### 滞在方法

一般的に、滞在方法は以下の3種類となります。  
 ホームステイ...現地の一般家庭に子どもと一緒に滞在します。ホストファミリーとの会話はもちろん英語。英語を使った暮らしを体験できます。同世代の子どもを持つ家庭にステイすれば、子ども同士で遊びを通して英語に親しむこともできます。

アパート...ベッドなど家具付きのアパートもあり、すべての家具をそろえる必要がないので便利。基本的に親子だけの生活となるので、生活のペースが乱されないメリットがあります。長期契約のみの場合も多いので、確認が必要。  
 ホテル・コンドミニアム...ホームステイ、アパート滞りに比べて割高になりますが、清掃などのサービスが受けられるので、家事に時間を費やしたくない人には便利。コンドミニアムにはキッチンが付いているため、親子で料理を楽しむなど、他人に気兼ねなく生活できます。

### 留学時期

英語学校やチャイルド・ケア・センターは、基本的に通年、留学生を受け入れています。現地の小学校・中学校・高校に留学する場合は、学期期間中に入学する必要があります。3ヶ月以上の長期留学を希望する場合は、各学期の開始時期に合わせて留学したほうがよいでしょう。また、夏休みなどの学校休暇期間は入学手続きを進めることができないので、注意が必要です。

小学・中学・高校の学期例  
 第1学期... 1月下旬 ~ 4月初旬  
 第2学期... 4月下旬 ~ 7月初旬  
 第3学期... 7月中旬 ~ 9月下旬  
 第4学期... 10月中旬 ~ 12月下旬

### 留学手続き

#### 個人で手続きをする

子どもの留学先が州立か私立かにより、問い合わせ先が異なります。個人での手続きも可能ですが、教育機関の選定や授業内容の確認、宿泊先の手配など、準備手続きには時間と英語力を要します。また用意すべき書類が多く、教育機関によっては推薦状が求められる場合もあります。












- ・親子ともに学校に通う場合のステップ  
 1 . 親の留学先選定    2 . 親の入学手続き    3 . 子どもの留学先選定    4 . 教育機関に直接連絡を取り、受け入れ状況確認    5 . 留学手続き完了後ビザ申請

入学手続きなど「親子留学」に関する最新情報はこちらから  
[www.study.australia.or.jp](http://www.study.australia.or.jp)



Australian Government

Australian Education International

・留学問い合わせ先  
/// 院...直接各学校へ。  
// ( 州立 )..各州の州政府教育省へ。  
// ( 私立 )..直接各学校へ。  
/...直接センター、幼稚園へ。  
 州政府教育省および私立学校協会の連絡先は下記のサイトでご確認ください  
[www.study.australia.or.jp/highschool.html](http://www.study.australia.or.jp/highschool.html)






・滞在先の手配  
 教育機関は通常、単身用のホームステイ手配のみ扱っています。親子で滞在する場合は、別途ホームステイ先かホテルなどを手配する必要があります。

**留学支援団体 ( 留学エージェント ) や旅行会社を利用する**  
 留学支援団体 ( 留学エージェント ) や旅行会社などが、親子向けのホームステイ・プログラムや、チャイルド・ケア付きの親子留学ツアーなど、バリエーションに富んだ親子留学のパッケージ・プログラムを提供しています。また、親子留学の特別プログラムを用意している現地の語学学校もあります。

### 費用

プログラム内容によって差はありますが、授業料・宿泊料を含む、親子1組の1週間の留学費用 ( 航空運賃は除く ) は13万~35万円程度です。子どもの年齢によって費用が異なる場合もあります。また、1年以上の長期留学の費用については各留学支援団体や企業にお問い合わせください。

#### 個人で手配する場合の費用例

・親が英語学校、子どもが州立校に通う ( 1週間 / 学費のみ )  
... A\$250 ~ 400 / ¥22,500 ~ 36,000  
...  A\$195 ~ 220 / ¥17,550 ~ 19,800  
 A\$250 ~ 260 / ¥22,500 ~ 23,400  
 A\$290 ~ 300 / ¥26,100 ~ 27,000

\* A\$ 1 = ¥90の場合

オーストラリア政府国際教育機構    オーストラリア大使館  
 〒108-8361 東京都港区三田2-1-14    Tel: 03-5232-4164    Fax: 03-5232-4119  
 開館日: 月 - 金 大使館休日・年末年始除く ) 開館時間: 10:00 ~ 17:00